

公表日

令和8年3月20日

事業所名

こぼんはうすさくら 西教室

保護者等数(児童数) 19名

回収数 17件(割合89%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1			広い部屋があるので、のびのびと活動できてくると思います。	これからも、活動に応じて十分なスペースを確保できるように努めていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15			2	配置基準よりも多い職員が、いつも優しく子ども達と接して下さります。そのため安心です。	これからも、より丁寧な関わりができるように、努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14			3		個人の特性を考慮し、その都度過ごしやすい環境を設定するように努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	16			1		療育後の掃除や整理整頓を毎日行い、気持ちよく過ごせるような空間づくりに努めています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17					個人の特性を考慮し、特性に応じた丁寧な関わりができるように、努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16			1		プログラムに記載した内容に沿って、日々の活動を考え提供しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17					お子さま、一人一人の特性を把握しながら、その子に合った計画を作成しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17					各項目にあった内容を確認しながら、個別に支援内容を考え、設定しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					計画に沿った内容を支援できるように、どのような活動内容が良いのかを話し合い、支援に繋がっています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1		2	様々なプログラムがあるため、経験を積み学ぶことができています。	活動内容は、季節に合った製作、運動遊び、戸外活動を取り入れています。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	17					児童館や図書館、公共の施設に行く活動を取り入れ、積極的に公共施設を使用しています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					見学時や利用契約時に、詳しく説明を行っています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					モニタリング時に説明を行い、内容についても希望がないか等、話しをしながら実施しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	2	2	3		保護者から相談があった場合には、その都度情報提供を行い対応しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17					送迎時に日々の様子を共有したり、直接話せない時には、LINEで伝えるなどの対応をしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17					年2回モニタリングを行っています。都度お子さんの様子に応じて、お母さんと連絡を取り合い支援を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17					保護者や利用の子供に合った内容を考え、支援を行っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	1	8	個人的には必要がないと思います。	ご家族で参加して頂く行事、こぼんまつりを開催し、そこで交流する機会を設け、支援に努めています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16					契約時、モニタリング時にお伝えさせて頂き、その都度お母さんとの連携を行い相談などにも応じています。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16				お子様とは、送迎時療育中など、常に声をかけ話を聞くように配慮しています。保護者さまとも、連絡ノートやLINEでやりとりをしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14			2	定期的にインスタグラム等のSNSで活動内容を公表し、発信に努めています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16				個人情報の取り扱いに関しては、SNSで発信する際や、外部との連携時にも保護者の了解を得て行っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12			4	マニュアルの講習を定期的に行っています。発生を想定した訓練の実施を行い、その内容をお便りで公表しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			6	中途入所のため不明です。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14			2	職員同士で情報共有を行ったり、現地に視察に行く等、安全な状況を確認した上で、支援の提供を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			1	事故や怪我が発生した場合は、保護者への連絡、職員間の情報共有を行い、その都度説明を行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16				先生たちが優しく尚且つ出来たことをほめてくださるので、安心して通所できています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1			先生や仲良しの通所児と会えること、楽しいイベント等楽しみにしています。毎週活動を楽しみにしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				親子ともに大満足です。いつもありがとうございます。
							満足して頂ける活動内容になるように、その都度話し合いを重ね、より良い支援に繋がるように努めています。

公表日

令和8年3月20日

事業所名

こぼんはうすさくら 旭川西教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		1日10名定員に設定し、活動に応じて十分なスペースを確保できるように努めています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		現在は人員を増やして充実しています。今後も、利用児童に応じて、更に増員予定です。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		個人の特性を考慮し、その都度過ごしやすい環境を設定するように努めています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		療育後の掃除や整理整頓を毎日行い、気持ちよく過ごせるような空間づくりに努めています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		個人の特性を考慮し、その都度過ごしやすい環境を設定するように努めています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		定期的に職員全員で話し合う機会を設けています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		頂いたご意見は、全体周知や話し合いの場を設け、業務改善に役立てています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		定期的に職員の意見を聞く機会を設けています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		ガイドラインアンケートを行い業務改善に役立てています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		定期的に研修を行い、スキルアップに努めています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		毎月こぼんだよりやプログラム予定表を作成し配布しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		モニタリング前には、必ずアセスメントを実施し、計画を作成しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		モニタリング前には、全職員で必ずアセスメントを実施し、計画を作成しています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		お子さま、一人一人の特性を把握しながら、その子に合った支援を行っています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	保護者から情報提供して頂き、日々の活動に生かしています。	勤務日数が少ない職員への周知をしっかりと行っていきます。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		各項目にあった内容を確認しながら、個別に支援内容を考え、設定しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		定期的に職員全員で話し合う機会を設けています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		活動内容は、季節に合った製作、運動遊び、戸外活動を取り入れています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		個人の特性を考慮し、その都度過ごしやすい環境を設定するように努めています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎日ミーティングを行い確認、連携を行っています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		その日に振り返りをできない場合は、次の日に前日の振り返りを行い情報共有をしています。	

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	指導員全員が閲覧できるツールを使い、支援の検証、改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	モニタリングの期間や支援計画の見直し時期も半年とは限らず必要性を判断しながら進めています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	9	各項目にあった内容を確認しながら、個別に支援内容を考え、設定しています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	個人の特性を考慮し、その都度過ごしやすい環境を設定するように努めています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	日々活動に参加している児童発達管理責任者が会議に参加しています。	
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	個々の特性に合った支援ができるように連携して情報共有を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	送迎時に様子を聞いたり、必要に応じて情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	担当者会議を実施する等、相互理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	個々の特性に合った支援ができるように連携して情報共有を行う予定です。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	個々の特性に合った支援ができるように連携して情報共有を行う予定です。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	児童館や図書館、公共の施設に行く活動を取り入れ、積極的に公共施設を使用しています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	時間が許される限り、積極的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	送迎時に日々の様子を共有したり、直接話せない時には、LINEで伝えるなどの対応をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	保護者から相談があった場合には、その都度情報提供を行い対応しています。	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	契約時、モニタリング時にお伝えし、その都度お母さんとの連携を行い相談などにも応じています。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	モニタリングの時だけに限らず、必要に応じて積極的にアプローチし、次の支援計画に反映させるように心がけています。	
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	モニタリングで内容を話し合い、計画が出来上がってから、直接お話しをして同意を得ています。	
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	お子さま、一人一人の特性を把握しながら、その子に合った支援や助言を行っています。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	ご家族で参加して頂く行事、こぼんまつりを開催し、そこで交流する機会を設け、支援に努めています。	勤務日数が少ない職員への周知をしっかりと行っています。
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	意見を頂いたときには、職員間で共有し改善に努めています。	
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	定期的にInstagram等のSNSで活動内容を公表し、発信に努めています。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	個人情報の取り扱いに関しては、SNSで発信する際や、外部との連携時にも保護者の了解を得て行っています。	
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	個人の特性を考慮し、その都度過ごしやすい環境を設定するように努めています。	
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	ご家族で参加して頂く行事、こぼんまつりを開催し、そこで交流する機会を設け、支援に努めています。	年に一度のみの開催となっている為、地域の方と交流する機会を増やしていきます。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		マニュアルの講習を定期的に行っています。発生を想定した訓練の実施を行い、その内容をお便りで公表しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		実際の災害を想定した、避難訓練を定期的に行ったり、消火器や避難バックの場所を確認し、共有しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		契約時に確認を行い、食事を提供する際にも、アレルギーがないかの確認を都度行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		全体に周知されるように、事務室に掲示をしたり菓の飲ませ方説明書をつくるなど、指示書を共有できる環境を設定しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		職員同士で情報共有を行ったり、現地に視察に行く等、安全な状況を確認した上で、支援の提供を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		送迎時に日々の様子を共有したり、直接話せない時には、LINEで伝えるなどの対応をしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		月1回の会議の中で全体に周知し改善策を話し合うなど、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		定期的に研修会を実施し、適切な対応を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		やむを得ない場合に身体拘束を行う場合でも、保護者への説明了解を得た上で行っています。		